

# JAしまねびより

2018  
4  
April Vol.25

特集 島根のいいもの再発見!! 「安来市 赤江・オーガニックファーム」 やすぎ地区本部



Yasugi  
安来を望む  
春を待つ大山  
直禰

島根には誇れる農産品がたーっくさん！  
**島根のいいもの再発見!!**  
 直撃・生産者インタビュー！



東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

**【安来市 赤江・オーガニックファーム】**

4月は、やすぎ地区本部。安来市赤江町で、葉物野菜を生産している、赤江・オーガニックファームの代表、岸川勉さんに、お話しをお伺いしてきました。



お話しをお伺いした岸川さん。中島地区の方々への感謝を胸にまっすぐに。

**赤江・オーガニックファームを設立した、きっかけを教えてください。**

広島でサラリーマンをしていましたが、平成13年、就農するためにイターンしました。当初から有機栽培に取り組み、平成17年には、県東部のUイターンの新規就農者を中心に組織した「島根おやさい本舗」というグループを設立し、山陰地区をメインに野菜を出荷しています。安来市で就農するメンバーも増加し、出荷量が増加。食の安全・安心の高まりから、有機野菜は県外からの出荷依頼を頂くようになりました。そこで平成27年「赤江・オーガニックファーム」を設立、県外に有機野菜の出荷をはじめました。

**現在の栽培規模など、概要を教えてください。**

グループの生産者5人でハウスの合計が70棟、164アールの面積で栽培しています。品目は小松菜、水菜、ほうれん草、春菊の4種類の葉物野菜、ミニトマトやオクラ

などの夏野菜を少量栽培しています。安来市は、就農支援のサポートが充実しており、現在は県の指導農業士として、新規就農者の研修の受け入れや就農支援も行なっています。グループのメンバー全員が、私の農園で研修した後、中島地区で就農したUイターン者です。グループの設立にあたり、各個人が国の有機JAS認証を取得し、大阪や京



地区内に所狭しと連なるハウス。ハウス内で育てられた野菜の色がなんとも言えないほど、美しいという印象でした。



都、岡山などに共同出荷しています。

## これまでに苦勞されたことなどありますか？

有機栽培をはじめて16年になります。当初は雑草や害虫などの被害が少なからずあり、苦勞しました。有機栽培の認知度が低く、知人の先駆者に聞いたりしながら、独りでも試行錯誤を繰り返しました。化学肥料や農薬に頼らない「有機」というイメージは、一般的に栽培が大変なイメージを持つ人がいるかもしれません。ただ葉物野菜は、技術体系が確立しているので、失敗はありますが、順調に規模を拡大しています。仮に1棟、ハウスが虫に食べられる被害があっても、年に5〜6回収穫できるので、被害が比較的安く抑えられるのも葉物野菜を選んだ理由です。

## 安来市で就農して感じたことなどありますか？

なによりも、赤江町内の皆さんの積極的な協力のおかげ

です。私のようなUイーターナーを快く迎え入れてくださり、中島地区の広くて平らな土地をこれだけ多く使わせていただけるのは、ハウスで栽培する葉物野菜にとって、規模を確保する上で、大きい支えだと感じています。そのため、メンバー全員が地域との繋がりをとても大事に考えており、地元の仕事や集会などに積極的に参加しています。また、やさぎ地区本部と連携し、小中学校の給食用として葉物野菜を出荷しています。JA直売所でも販売をはじめており、県外への出荷がメインですが、地元の皆さんにも、有機野菜を広く知ってもらいたいと思っています。

## グループの今後の抱負や計画など教えてください。

有機JAS認証を受けている農産物は、現在、全体の0.2パーセントしか流通していないといわれています。安全で安心な美味しい有機野菜を多くの方に食べてもらいたい、という想いから、年々規模を拡大しています。今年



国の有機JAS認証を受けた野菜の需要は徐々に高まりつつあり、まだまだその市場は大きいという。

は新たに2人の研修生を迎えるなど、積極的に新規就農者

を受け入れていきます。グループのメンバーが増え、生産量がまとまることで、収穫状況を踏まえて、出荷量を補完し合うことができます。これにより、大きな市場で安定的に出荷することができます。毎

週1回集まって、誰がどこに出荷するかなどの割り当てを話し合っています。この集まりを、もっとたくさんの方にメンバーで行い、多くの方に有機野菜を食べてもらいたいと考えています。



毎週の定例ミーティングに加え、LINEなどを活用し、情報共有を図りながら、メンバー同士の協力体制を確立している。

## 赤江・オーガニックファーム ーOメモ

有機野菜とは、農薬や化学肥料などの化学物質に頼らず、自然の力で栽培した野菜。国の定める有機JAS認証を取得すると、マークを使用することができ「有機〇〇」や「オーガニック〇〇」など表示することができる。赤江オーガニックファームでは、良質なたい肥で土作りにこだわり、太陽熱を利用した消毒で雑草や病害虫を減らすなど、徹底した管理で有機栽培を行なっている。今後、有機野菜は東京オリンピック・パラリンピックなどをひかえて、日本の安心・安全な農作物として需要が見込まれている。



# ／ チャレンジ ／ 「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3カ年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

## 「担い手ドック」のご紹介



JA島根厚生連では、「担い手の方が健康で農業生産に携われる」ことを目的にTACをはじめとする各地区本部の担当者と連携して、平成26年度から「担い手ドック」に取り組んでいます。

この担い手ドックの特徴は、①農閑期に身近な場所で人間ドックが受診できる、②JAオリジナルで充実した検査内容、③JAしまね農業振興支援事業の助成により安価、④総合病院では半日以上かかるドックが約1時間で終了することであり、受診いただいた担い手の方からは好評を得ています。

担い手ドックを開始した当初は、“ドック”の知名度が低く、TACからも「お受けいただくのに苦労した」と聞いていましたが、現在では受診した方から「これは良い。来年度も予約する」と言った声や「お陰で病気が早期に見つかったわ」などの喜びの声がTACに寄せられています。徐々に担い手の方に浸透しており、4年目となる平成29年度は1,042人と今までで最多の方に受診いただきました。

健康管理維持・増進の第一歩は“健診受診”ですが、平成27年度に行ったアンケート結果から、担い手の約45%の方が毎年健診を「受けていない」ことがわかりました。担い手の方の受診環境はまだ十分とは言えません。

今後ともJA島根厚生連は、JAしまねとともに担い手ドックを通して受診機会を提供することで、担い手の皆さまが元気で活躍いただけるよう島根の農業を支えて参ります。



# JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介

JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」を実施しています。今月号より、同事業をご活用頂いている方々の事例を連載いたします。

## 松江市の高橋裕典さん（70）と息子の高橋裕介さん（30） 親子の『ゆうてん農園』をご紹介します。



『ゆうてん農園』は現在、主食用米22ha、飼料用米6ha、WC S用稲5.5ha、野菜0.5ha（キャベツ・白菜・セリ・ブロッコリー）を栽培し水稲中心の農業経営を行っています。

『ゆうてん農園』では平成29年度JAしまね農業振興支援事業によって導入したトラクターを活用し、作業効率の向上を図るとともに、経営規模の拡大、さらには多角的な農業経営の展開を目指しておられます。



このような中、裕介さんは「今後、野菜栽培にも力をいれ、消費者と積極的にコミュニケーションをはかり、ニーズに即した農作物を提供できる生産者になりたい。」と将来への抱負を語っていただきました。

また、裕典さんは「今後、息子には農業経営の多角化に向け、野菜栽培をはじめ、様々な取組に積極的に挑戦してもらいたい。この挑戦と地道な努力が将来の地域農業を守ることに繋がる。」と熱い思いを話していただきました。

（注）WCSとは、稲の実と茎葉を同時に収穫し、発酵させた牛の飼料

## 理事会情報（2月27日開催）

### 協議事項

- ① 平成29年度JAしまね農業振興支援事業第5回（2月）申請について
- ② 「平成30年1月からの寒波降雪等の災害」に対する農業施設復興対策支援事業要領の設定について
- ③ 島根県地域共同計算監査委員会の委員選出について
- ④ 平成30年度における農業資金の保証料助成について
- ⑤ 大口貸出金の承認について
- ⑥ 組合と理事との取引（契約）の承認について
- ⑦ 島根県常例検査書の回答について
- ⑧ JA全国監査機構による期中改善指示事項（期中監査）に対する回答について
- ⑨ 機構改革によるリスク管理基本方針の一部改正について
- ⑩ 新退職金制度への移行にかかる退職給付債務の取り扱いと計算方法の決定について
- ⑪ 地区本部別損益管理にかかる統一事項の取り扱いについて
- ⑫ 職制規程の一部改正について
- ⑬ 平成30年4月1日付け機構改革の実施について
- ⑭ 全農からの資産譲受について
- ⑮ 第4回通常総代会の実施および功労者表彰について
- ⑯ 「一般社団法人ファームサポート美郷」の設立への参画について
- ⑰ 平成30年度地域貢献・地域活性化支援事業について
- ⑱ JAしまね福祉事業に関する運営規程の設定・一部改正・廃止について
- ⑲ 平成30年度JAしまね新規採用職員への対応およびJA島根ユースカレッジ「新入職員課程」の実施について
- ⑳ 平成30年度職員採用方針について
- ㉑ 無期転換ルール適用に伴う就業規則の一部改正について
- ㉒ 平成30年度内部監査計画について

（紙幅の関係上、報告事項は省略いたします）

## 雲南

### 高まる食品への関心 講習会で理解深める

雲南農業振興協議会が主催する食品表示・衛生講習会が地区本部管内3カ所で開催。産直会員ら192人が参加し、衛生管理や食品表示法などの理解を深めました。

近年、虫や金属片などさまざまな異物が混入していたというニュースが相次いでおり、消費者はもとより生産者も「安全・安心な食品」への関心を高めています。

講習会では、衛生的な食品の加工や食品表示法に伴う加工品の栄養表示などを、県雲南保健所衛生指導課の今岡愛さんが説明。今岡さんは「多くの人が知り、支え合いながら対応する必要がある」と話しました。

雲南地区本部は年1回、食品の衛生管理や品質向上に向けた講習会を開いています。営農部農産加工課の福田忠課長は「雲南管内の安全安心な商品がお客様の下へ届くように、周知を徹底していきたい」と意気込みます。



関心の高い内容に多くの人が訪れました

## 隠岐

### JA女子大学 隠岐キャンパス 「隠岐ジオパーク研修会」を開催

3月24日にJA女子大学隠岐キャンパスの第1回目となる講座として「隠岐ジオパーク研修会」を実施しました。ジオパークとは世界的に貴重な地形・地質や美しい自然環境を有し、またそれらをうまく利用した人々の暮らしや文化・歴史があることが条件で認定されるものであり、平成30年1月に再認定を受けたところです。隠岐に暮らしながらも、案外ジオパークを知らない、触れることが少ないということもあり、この研修会での学びを通して、地元の魅力を再発見できればとの思いで企画いたしました。当日は、天候にも恵まれ、実際に自然・文化・歴史がある場所へジオパークガイドの案内のもと巡り、地元の魅力を改めて知ることが出来ました。

JA女子大学隠岐キャンパスでは、今後概ね2カ月ごとに講座等を開催することとしています。



## くにびき

### くにびき農業法人会 定期総会開催

くにびき農業法人会（岸本定朝会長）は3月8日、松江エクセルホテル東急で「第7回定期総会」を開催しました。

当日はくにびき管内で組織する16法人の代表者と関係機関から40名が出席。冒頭、岸本会長から「現在、農政の転換期であり、農業法人にとって厳しい状況が続いている。互いに情報を共有し、より良い地域農業を実現していきたい」と挨拶がありました。続いて、新規に加入した農事組合法人林本郷の松浦久年代表理事が今後の抱負を述べました。

総会では、農事組合法人佐々布農産の三島進さんを議長に選任し、今年度の活動報告や来年度の活動計画と収支計画などについて全議案を承認しました。

また、役員改選もあり、会長、副会長、委員がいずれも再任。監事には農事組合法人やわたファームの青砥忠一代表理事組合長を新たに選任。青砥さんは「地域農業の活性化を目指し、大役を果たせるよう努力したい」と力強く抱負を述べました。

来年度の活動計画では、米の品質向上を図るため研修会や会員間の連携強化を目的とする意見交換会を行う予定です。

くにびき農業法人会（敬省略）

【会長】岸本 定朝（再任）

【副会長】多久和輝男（再任）

【委員】勝田 達雄（再任）

【委員】吉岡 雅裕（再任）

【監事】田中 裕司（再任）

【監事】青砥 忠一（新任）



挨拶をする岸本会長

## やすぎ

### 春の彼岸花市開催

JALしまねやすぎ地区本部は3月16日からの3日間、同地区本部管内にあるグリーンセンター（農産物直売所）2店舗となかうみ菜彩館で「彼岸花市」を開催しました。同イベントは毎年開催している直売所の一大イベントであり、管内の農家が栽培した色鮮やかな花を中心に新鮮な野菜や果物なども豊富に揃えました。

各店舗では、定番である小菊やストック、しびきなどの花木が店先に並び、開店から多くの買い物客で賑わいました。来店客は「きれいな花がたくさんあって選ぶのが大変だわ」と笑顔で話されました。



## 女性部から図書カード贈呈

3月5日、JAしまね斐川女性部は、町内の西野幼稚園を訪問し、図書カードを贈呈しました。この活動は、安心して暮らせる住みよい地域社会づくりを目指す女性部活動の一環として毎年行っているもので、図書カードは、昨年のJA祭りで行われたチャリティーバザーでの収益金の一部から購入したものです。飯塚順子部長から園児たちに「みなさんや、今度新しく入ってくるお友達にもたくさん本を読んでもらえると嬉しいです」と手渡され、お礼に年長組の園児たちが歌を披露してくれるなど、大変賑やかな贈呈式となりました。毎年、町内12箇所の幼稚園・保育園を3箇所ずつ訪問しており、この日は中部幼稚園と出東幼稚園にも同様に図書カードを贈呈しました。



図書カードを園児に手渡す飯塚順子部長

## 長久小で出前講座『箱寿司』作り体験

大田市立長久小学校の5年生19人が3月2日、大田市の伝統料理「箱寿司」の作り方を学びました。

講師に、JAしまね石見銀山女性部長久支部の森脇岸江支部長、他5名を迎え、児童は酢飯、前日に作った錦糸卵などの材料を木枠に詰め、皆で切り分けました。

同校では、学習の一環として地元の米生産者の協力により、田植えや稲刈りなど米作りについて学んでおり、その学習の仕上げとして、同女性部による箱寿司作りの出前講座を毎年しています。児童からは「お米を一から作って大変だったけど、自分達で作ったお米を使って料理ができて良かった」「今まで作った料理の中で最高においしい」など感想を話しました。

箱寿司が完成すると、同女性部が用意していた「うどん豆腐」と一緒に食べました。箱寿司が出来上がるまでの間では、森脇支部長が雑誌「ちゃぐりん」を用いて児童にご飯をしっかりと食べることの大切さを伝えました。



同女性部の指導のもと寿司を取り出す児童

## 隠岐家畜市場開催

隠岐では、牛馬の飼養頭数と地理的な面から島前の3島と島後の1島それぞれに家畜市場が設けられていて、隠岐市場は、春（3月）・夏（7月）・秋（11月）の年3回開催され、島後を振り出しに連続3日間をかけた全市場を巡回します。

今春の市場は、寒気に伴う大風でフェリーの欠航が危惧されましたが、予定どおり3月6～8日にかけて無事に開催することが出来ました。当地区本部からは365頭の子牛が上場され、平均価格は雌で553千円、雄で559千円、去勢で591千円、総平均で576千円と、残念ながら前回秋市場から31千円の下げとなりました。その要因として、上場日令の大きなバラツキ、不順な天候、上場頭数減、これに伴う購買者の減少などが考えられますが、放牧で育った隠岐牛の特徴である、肢蹄がしっかりした個体が多く見られましたので、今後に大きな期待が持てる実感しました。

幸いに、新規就農者を含め増頭意欲が強く、29年度の農協有家畜導入事業の利用頭数が50頭に達し、地区本部内の繁殖牛飼養頭数も増加しています。

今夏市場から、当地区本部最大の西ノ島町の家畜市場が「落成初市場」となるので、多くの関係者にご来場いただき、活況のある競り市場となることを期待しています。



## 農業情報イベント ミニアグリミーティング開催

JAしまね出雲地区本部は3月10日と11日の両日、同地区本部の生産資材課江田倉庫で農業情報イベント「ミニアグリミーティング」を開催しました。種苗・肥料会社など約20ブースで商品展示、農業技術紹介を行ったほか、栄養と美味しさの両立で注目を集める「金芽米」の試食販売も実施。2日間で約400人が来場しました。

このイベントは倉庫内のスペース活用で平成28年から開催しています。例年会場の一角でセミナーも開催しており、今回は空動扇によるハウス内の環境改善や、優良系統デラウェアのジベレリン処理といった新技術についての講習や、春野菜の栽培講習、野菜の飾り切りの体験など、12講座を実施しました。同地区本部生産資材課の片寄厚課長は「必要な情報は人それぞれ。多種多様な講座を企画したので興味があるものを見てもらいたい」と話しました。



試食販売を行った金芽米ブース

## 西いわみ

### 特産ユズ果汁を使ったカステラを発売しました

益田市特産のユズの栽培を手掛ける美都町柚子生産者組合（組合長山根哲朗）とJAしまね西いわみ地区本部（本部長田村清己）は3月2日、ユズ果汁を使った新商品のカステラ「美都ゆずカステラ」の完成を山本浩章益田市長に報告しました。

カステラはJA地区本部、(株)和欄西葡、三菱食品(株)の三社が共同開発し、三菱食品(株)が展開する菓子ブランド「M'colla」の新商品として販売します。ユズの特徴である「香り」と「色」を生かすため100%ストレート果汁を使い無香料、無着色で仕上げました。

原料の果汁は種をつぶさず搾る手搾りに近い製法で搾ったもので、苦みが少なく酸味も強すぎず風味が良いといわれています。

報告会では、完成したカステラを山本市長が試食し、「食べると口の中に香りが広がり、大変おいしい。益田の新しいお土産にぴったりです」と喜ばれました。

田村本部長は「今後も生産者が喜べる商品づくりを進めていきたい」と意気込みを語りました。

カステラは3月10日より地域限定で先行販売し、24日以降順次販売エリアを拡大していきます。



カステラの試食後に田村本部長と言葉を交わす山本益田市長

## 本店

### 第8回 地域連携フォーラム開催

「みんなで安心して暮らせる地域づくりをめざして」をテーマとした、第8回地域連携フォーラムが3月8日、くにびき宮農センターを会場に開催し、集まった約250人が、各団体の実践報告や湯浅誠氏（社会活動家／法政大学教授）の特別講演を熱心に聴講しました。

「なないろ食堂」（いわゆる子ども食堂）を運営している吉川郁子事務局長は、実践から見てきたこととして「課題はあるが、参加者、ボランティア双方にとって、多様な人との関わりの場やほっとできる場になりつつある」と報告。この他、松江市古志原公民館長竹谷強氏が「夏休み寺子屋」を、生きづらさを抱える人々を支える地域づくりをめざす、すまいるーねっと代表後藤幸江氏が「農福連携」について、それぞれ報告しました。

また、湯浅誠氏は、子どもの貧困と地域づくりをテーマに「ボランティアとして、居るだけ支援という形もある。多様な人々とのつながりが重要」と参加者の実践に期待しました。

このフォーラムは、同じ地域に住み活動している仲間が、学習しながら実践し、つながることを目的に集まった「あったか地域づくり協議会」（構成団体：松江市社会福祉協議会、JAしまね、松江保健生活協同組合、生活協同組合しまね、地域つながりセンター等）が主催しました。



## 島根おおち

### 担い手人間ドックを実施

島根おおち地区本部では2月27日から3月1日までの3日間、地区本部管内の担い手農家を対象に、JA島根厚生連と連携した巡回人間ドックを実施しました。

邑南町矢上の矢上交流センターと、美郷町久保の邑智支店営農生活課の2か所で実施し、計68名の担い手農家の方が健診を受けられました。

この健診は通常の巡回人間ドックの項目に「胸部CT検診」をセットした本格的な検査で、様々な検査を1時間半程度で済ませることができ、JAから助成をすることで、通常の1/3程度の受診料で受診できるため、毎年多くの方に受診頂いています。

健診を受けられた方からは「助かっている」、「来年も受診したい」との声を頂いており、農家の皆様が安心して営農に取り組めるよう健康管理のお手伝いを行っていきます。



## いわみ中央

### 産直加工品研修会で売れる加工品づくりと食品表示の基礎知識を学ぶ！

いわみ中央産直振興協議会（会長 松本昭二）は、3月13日いわみ中央地区本部ふれあいホールにて産直加工品研修会を開催し関係機関を含む79名が参加しました。

研修会は、2部構成で行い、1部では、島根県6次産業化アドバイザーの土井小百合氏（松江市）による、「食卓に愛を！」～生産者目線から消費者目線へ～と題して講演をいただきました。

2部では、講師に浜田保健所環境衛生部の石橋技師と石原主任技師に食品表示の基礎知識研修として、「加工品の食品表示」の演題で講義を受けました。

講義の中では、食品表示法施行前の旧基準の表示が認められる経過措置期間も平成32年3月31日までとなっているため、新しい表示法を学びました。

講義終了後の質疑応答では、石橋技師に新しい加工品などの表示についての疑問を質問され、生産者としての出荷意欲を強く感じた有意義な研修会となりました。





## タテのカギ



- ① てこには——・力点・作用点があります
- ③ 5月5日は——の日。国民の祝日です
- ⑤ 父や母の兄弟です
- ⑥ 川の流れの急な所
- ⑦ 別名は虞美人草、ポピー
- ⑨ 日本庭園だとコイが泳いでいることも
- ⑪ 刃物で紙に描きます
- ⑬ 生物や化学を学ぶ教科
- ⑮ 無地ではない衣服
- ⑰ バイオリンや笛のこと
- ⑲ 鳥よけに張ることもあります
- ⑳ 唱歌『春の小川』の歌詞に出てくる花
- ㉑ レイシとも呼ばれる果物

## ヨコのカギ



- ① 潮の引いた浜で貝を探します
- ② マジシャンが披露するもの
- ③ ストー夫人の著書『アンクル・トムの——』
- ④ 輪のある惑星として知られています
- ⑥ 急いで記した文字のこと
- ⑧ 野球部の監督が選手に——を飛ばした
- ⑩ 動物がよく通る所にできます
- ⑫ 魚やイカの呼吸器官
- ⑭ 化粧をするときにのぞきます
- ⑯ イースター島の巨大な石像
- ⑱ 同伴者のこと

二重マスの文字を A ~ E の順に並べて  
できる言葉は何でしょうか？

1	5	7		13		20
2			E		14	17
		8	11		18	
	6			15		
3			12			21
4		9		16	19	
		10				

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

## 応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町151  
JAしまね 隠岐地区本部 「クイズ」係  
平成30年5月5日（土）（当日消印有効）

## ◆先月号の答え◆ 「タケノコ」

ナ	ハ	カ	ゲ
ワ	シ	カ	コ
シ	オ	ミ	ク
ロ	ダ	ン	リ
イ	ダ	テ	ン
セ	コ	ン	ド
リ	ン	ド	リ

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

## けんこうさんぽ 健康散歩 JA島根厚生連

## 春野菜のパワー

桜も開花し、過ごしやすい気候になりました。春は山や野に新しい草花を咲かせます。そこで、今回は春に旬とされる野菜をご紹介します。

● **落（ふき）**：古くから中国や日本でもフキノトウの葉の部分を食べると咳止めや痰切の作用があるといわれています。

● **菜の花**：菜の花にはβカロチンやビタミンB1・B2、ビタミンC、鉄、カルシウム、カリウム、食物繊維など栄養素が豊富に含まれています。カロチンやビタミンCは免疫力を高め、がん予防やかぜの予防に効果的です。またカリウムも豊富なため、血圧が高めの方にもお勧めの食材です。種子から採取する菜種油は、不飽和脂肪酸のリノール酸やオレイン酸を含んでおり、動脈硬化の予防などにも効果があるといわれています。

● **たらの芽**：たらの芽は「山菜の王様」と呼ばれており、ほのかな苦味とコクがあるのが特徴です。特有の苦みは「エラノサイト」と呼ばれる成分で、糖の吸収を抑制し、血糖値の上昇を抑えるはたらきがあります。また、老化を防ぐビタミンE、精神を安定させるビタミンKも含まれています。さらに、葉酸も含まれており、妊娠中や授乳中の女性も積極的に摂取すると良いでしょう。

● **キャベツ**：ビタミンUは別名キャベジンと呼ばれており、胃の粘膜を修復し、丈夫にしてくれます。キャベツにはカルシウムも含まれ、骨を丈夫にし、精神を安定させる効果があります。

● **うど**：若い茎は食用になり、育った根は薬用になります。ペンアルデヒド、アミノ酸、タンニンを含み関節痛やリウマチの鎮静剤として用いられます。

野菜の価格が高騰しており、なかなか摂取する機会も少なくなっているかもしれませんが、旬の野菜を活用し、新しい年度に向けて春野菜から良いパワーをもらってみてはいかがでしょうか。

営農技術情報

4月に入り、水稻の播種作業が始まっていることと思います。

今回は、水稻の箱剤施用以降の病虫害対策と、春野菜の初期害虫に有効で簡単に使える農薬を紹介します。

水稻は田植え時に箱剤施用をする方が増え、初期の病虫害防除に大きな効果をあげています。しかし、時間の経過とともに効果が低下するため、発生時期が遅い「イネクロカメムシ(ゲントク)」や「イネミズゾウムシ」に対して防除効果が劣る場合が見られます。(特にイネミズゾウムシにおいては農業技術センターからの情報で発生が多くなることが懸念されています。)

ゲントクは被害が広がると葉先枯れや株の矮小が起こり、イネミズゾウムシも生育が遅れ分けつが減り、減収や株絶えとなるなどの被害が見られるようになります。

これらの害虫をほ場で確認したらゲントクはスタークルの粒剤か豆つぶ、イネミズゾウムシはトレボン粒剤を早めに施用して下さい。(使用方法を稲作ごよみで確認下さい。)

春野菜にも、初期の病虫害を防除するものがあります。JAでは、移植時の植穴処理等で使用する「オルトラン粒剤」などを取りそろえております。「オルトラン粒剤」は、初期のアブラムシなどに効果が高く、今回紹介するものは1.5kgのボトル入りなのでそのまま簡単に散布ができます。少しでも被害を減らして品質の良い野菜を収穫するために是非一度お試し下さい。(各薬剤の対象野菜や使用方法は薬剤のラベル等で確認してご使用下さい。)



スタークル豆つぶ  
250g 3,760円



スタークル粒剤  
3kg 3,450円



トレボン粒剤  
2kg 1,880円



オルトラン粒剤  
1.5kg 1,980円

が、奥出雲町和牛改良組合の活動事例の紹介や全国和牛登録協会の講義を受講いたしました。その後、他の改良組合との意見交換会が行われ親睦を深めることができました。2日目には、参加者全員で実際の牛を使つての審査を行い、全国和牛登録協会の穴田専務の解説で目合わせを行った後、研修会が終了となりました。今後優良牛の生産と保留をしながら増頭に向けて活動していきたいと思ひます。



3月22日から23日、島後和牛改良組合は、仁多郡奥出雲町で開催された中国・四国ブロック和牛改良組合強化研修会に参加しました。当日は悪天候の影響で研修会途中からの参加となりました。

中国・四国ブロック  
和牛改良組合強化研修会へ参加

J  
A  
N  
E  
S

(報告／経済課)

「若手異業種交流会」の開催

隠岐地域内で異業種間の横のつながりを強化することで、隠岐地域の活性化を図ることを目的に、3月15日、隠岐島文化会館において「若手異業種交流会 in 隠岐」が開催されました。

この企画は隠岐支庁、隠岐の島町、JAしまね隠岐地区本部が合同で開催し、島前・島後で様々な業種に就いている若手77名が参加しました。

奥出雲町の大塚一貴氏より鳥根県東部の若手農業者の組織である「出雲野菜株式会社」での取り組みについて、隠岐の島町の村上淳一氏から「島の香り 隠岐藻塩米」の生産や部会での取り組みについて講演をして頂いた後に、6班に分かれ「隠岐へのUターン呼び込みのための活動提案」や「地域資源を活用した産業創出提案」「体験型観光モデルの提案」など各班が決めたテーマでグループ討議を行い、議論した結果を各班の代表が発表しました。

発表後は隠岐の島町長、隠岐支庁長、JAしまね隠岐地区本部経済部長より講評があり、熱意のある若者達へ熱いエールを送って頂きました。今回の提案で実行の可能性があり、隠岐の島町の振興に繋がる提案については関係機関で協議決定し、一定の予算を付けて進めていくこととなっています。また、このような取り組みは今回だけでなく



グループ討議の様子

関係機関一丸となり継続していく予定です。

会議終了後は、場所を変え懇親会を行いました。この日隠岐に視察に来ていた「香川県立農業大学校」の学生さんも加わり、大いに盛り上がり、隠岐の将来について皆熱く語り合っていました。

(報告／経済課)

夜光反射材の寄贈について



3月28日、西郷中学校において、夜間の交通事故防止を目的として新しく入学される新1年生用に夜光反射タスキを西郷中学校へ寄贈いたしました。

この寄贈は、県民の交通安全に対する願いや市町村をはじめとする関係各所のご尽力にもかかわらず、悲惨な交通事故があとを絶たないことから毎年寄贈しています。

佐々木本部長より「交通事故防止に役立ててください。」と西郷中学校 常角校長へ手渡し、常角校長からは「大変助かります。おかげさまで交通事故は1件もない状態です。今後とも交通安全に取り組みます。」と力強いお言葉をいただきました。

JAしまね、JA共済連島根ならびに(一財)島根県農協共済福祉事業団では、小学生への集金袋寄贈、高校生への交通遺児育英奨学金支給、市町村へのカーブミラー寄贈等、交通事故防止や様々な地域貢献活動を行っております。

(報告／共済課)

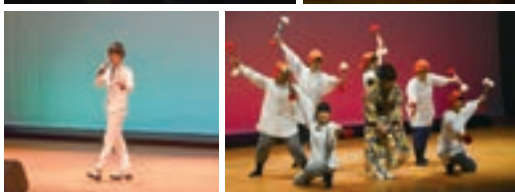
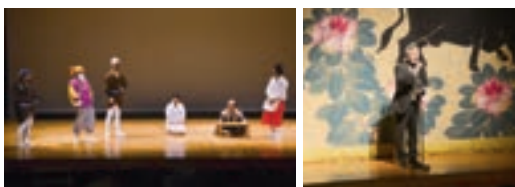
年金友の会  
「楽・楽」感謝祭の実施について



3月10日、年金友の会「楽・楽」は隠岐島文化会館において感謝祭を開催しました。年金友の会は、JAへ年金受給指定をされている方を会員として、イベントの開催、旅行、誕生日プレゼント、ゲートボール大会などの様々な活動を行っています。

感謝祭は、会員同士の親睦・教養を深める場として開催し、当日は予想を上回る256名の会員の皆さんにご来場いただきました。今回はイベントとしてJA職員による「レターパック詐欺防止」を題材とした寸劇や松江市出身のプロ歌手「小川たけし」による歌謡ショーを行い、大いに盛り上がりました。また、お弁当の無料配布や格安100円均一コーナー、格安スマホ相談などを行い、来場いただいた会員からは、「参加してよかった」等、好評のお言葉を沢山いただきました。

今後とも会員の皆様には、イベント等を通じてご満足いただける様、取り組みんで参ります。



(報告／金融課)

組合員の皆様へ

### 連休期間中の経済課営業について

5月3日(木)～5月5日(土)の期間の肥料、農薬等の供給につきましては、下記予定表の通り(8:30～12:00)営業致しますのでご利用頂きますようお願い申し上げます。なお、支店・店については営業致しませんのでご了承下さい。

〈営業予定表〉

月 日	5月3日(木)	5月4日(金)	5月5日(土)
営業時間	8:30～12:00	8:30～12:00	8:30～12:00

※支店、店においては営業していません。経済課(隠岐の島町城北町151番地)のみの営業となります。

JAしまね隠岐地区本部経済課 連絡先2-1133

### 隠岐地区本部 農機センター繁忙期対応について

隠岐地区本部 農機センターでは繁忙期の対応として、4月28日(土)～6月3日(日)の間、すべての土曜・日曜・祝祭日を営業いたします。なお、営業時間は、通常どおり8:30～17:00となります。

### 両替手数料にかかるお知らせ

いつもJAしまねをご利用いただき、誠にありがとうございます。

4月より改定しました両替手数料において、「金種指定払出」「大量硬貨入金」にかかる手数料をご負担頂く先については「法人・個人事業主」とし、個人からは頂かないこととなりましたことをお知らせいたします。

今後とも、当JAでは、組合員・地域利用者の皆さまにご満足いただき信頼される地域金融機関として、サービスの充実を図ってまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

#### ◎両替手数料(改定後)

	お取扱枚数	窓口手数料(消費税込)
両替(窓口)	1～49枚	無料
金種指定払出(窓口)	50～500枚	324円
大量硬貨入金(窓口)	501～1,000枚	648円
※渉外担当扱いも含みます	1,001～1,500枚	972円
	以降500枚ごと	324円加算

- ◇有料となる両替には、新札への両替を含みます。
- ◇両替のお取扱枚数は、ご持参(両替前)の枚数、お持ち帰り(両替後)の枚数のいずれが多い枚数が基準となります。
- ◇法人・個人事業主の利用者の方で、窓口での現金による貯金のお引き出しに際しまして金種を指定される場合は、お取扱枚数に応じて手数料をいただきます。  
 <金種指定払出手数料のお取り扱い枚数>  
 お引出し総枚数から万円券を除いた枚数で計算します。  
 ※ただし、万円券が新札の場合は、お取扱枚数に万円券の枚数も含みます。
- ◇法人・個人事業主の利用者の方で、窓口での大量の硬貨によるご入金等につきましては、お取扱枚数に応じて手数料をいただきます。なお、募金義援金等にかかる大量硬貨入金は無料です。  
 <大量硬貨入金のお取り扱い枚数>  
 ご入金等される「硬貨の枚数」で計算します。
- ◇両替・金種指定払出・大量硬貨入金のうち、複数種類の取引をされる場合は、いずれか枚数の多い取引で手数料をいただきます。
- ◇同種類の取引を複数される場合は、合計枚数の手数料をいただきます。
- ◇汚損現金・記念硬貨の交換は無料です。

### 読者の皆様のご意見・ご感想をご紹介します

3月10日の「年金友の会感謝祭」を楽しみにしてましたが、残念ながら欠席いたしました。またの機会を楽しみにしています。今後とも宜しくお願いです。(中村・Iさん)

「健康散歩」旬の食材を食べよう!はとて読みごたえがありました。「なるほど」とうなずくばかりです。隠岐地区本部情報もあらためてゆつくりと読みました。色々なところを春にのびのびと読みたいです。(有木・Mさん)

「や」と春になりましたね。今年の冬は厳しい寒さになりそうです。暖かくなり、畑仕事もそろそろと。家庭菜園を教科書(お手本)に頑張っています。(伊後・Aさん)

春が来たのはうれしい。うれしいが鼻がムズムズし、外の雑草も気になるが目をかゆいし……。皆さん外仕事はどうされていますか? (栄町・Kさん)

3月15日にジャガイモを植えました。4月には芽が出ておもうのですが、萌芽後の上手な管理を見て参考にさせていただきます。(池田・Hさん)

ジャガイモを植えようとして灰作り、畑も耕しました。管理方法を手本に「おいしいジャガイモ」楽しみに育てます。昨年は不作でしたので。(上西・Hさん)

家庭菜園記事のジャガイモの上手な管理の仕方がとても参考になりました。今年やってみます。(東郷・Kさん)

「お便り募集」  
 本誌「クロスワードパズル」コーナーの応募要項をご覧ください。  
 本誌「JAしまねびより」またJAに対するご意見・ご感想をぜひお聞かせください。

# 職員募集

島根県農業協同組合（JAしまね）では、下記のとおり職員を募集します。

- ◆募集区分 本店採用・地区本部採用
- ◆応募資格 ①平成31年3月大学院・大学・短大・高専・専修学校卒業見込みの方  
②大学院・大学・短大・高専・専修学校を卒業して3年以内の方
- ◆採用予定者数 70名程度（隠岐地区本部採用予定者数 若干名）
- ◆職種 正職員
- ◆応募受付期間 平成30年4月11日（水）～5月11日（金）期間内必着
- ◆応募書類 ①自筆履歴書（写真貼付）  
②職員応募申込書（JA様式）  
③卒業見込証明書または卒業証書  
④学業成績証明書  
⑤受験票添付用写真 1枚（タテ4cm ヨコ3cm 6ヶ月以内撮影）  
※申込に際しての提出書類はお返し致しません。
- ◆書類提出先 島根県農業協同組合 本店人事教育部 人事課  
（〒690-0887 島根県松江市殿町19番地1）  
郵送または持参。封筒の表に朱書きで「職員採用選考書類」と記入。
- ◆選考方法 ①第一次試験 筆記試験（基礎能力試験・適正検査・論文）  
面接試験  
②第二次試験 面接試験
- ◆採用試験日 ①第一次選考 平成30年6月8日（金）  
②第二次選考 一次合格者に別途通知
- ◆採用試験場所 「ラピタウエディングパレス」3階 鳳凰の間  
（〒693-8587 島根県出雲市今市町87番地）
- ◆初任給 正職員 168,000円～172,000円（大卒）  
156,000円（短大・高専・専修卒）
- ◆休日休暇 週休2日制（第3土曜勤務）年間休日日数（122日／2017年度実績）  
年次有給休暇、慶弔休暇、産前産後休暇、育児休業、配偶者出産休暇、介護休暇、介護休業、看護休暇
- ◆勤務時間 8：30～17：00（実働7時間30分+休憩時間1時間）
- ◆お知らせ 平成31年4月職員の採用は、地区本部採用・本店採用があります。  
地区本部採用：県内を11の担当区域に分割する地区本部のなかで、勤務を希望する地区本部区域内の事業所への配属となります。  
本店採用：本店を含む県下全域（転居を伴う配置を含む）の事業所への配属となります。
- ◆問い合わせ先 島根県農業協同組合 隠岐地区本部 企画総務課 TEL：08512-2-1131

**【個人情報の取扱いについて】**

ご提出いただいた個人情報については、島根県農業協同組合職員採用目的にのみ使用し、漏洩、滅失、毀損の防止等、安全管理のために必要な措置を適切に行います。

# 栄養豊か 花も楽しめる オクラ

板木技術士事務所 ● 板木利隆



夏を越して晩秋まで果実（莢果）を取り続けることができ、フヨウに似た黄色い花は観賞用としてもめでられ、家庭菜園や庭先、プランター栽培共にお勧めです。アオイに似た花は観賞価値もあり、秋遅くまで咲き続けます。花も実もある重宝な野菜といえます。

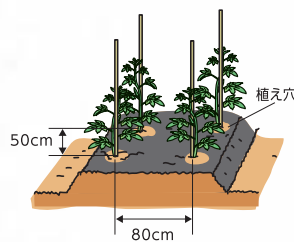
独特の粘りがあり、夏のスタミナ補給にうってつけの野菜として知られています。食べ方は刻んで生のままでだけでなく、ゆでたり炒めたり、サラダやてんぷら、みそ漬け、かす漬けにと、使い道が広いのも魅力です。

高温性で昼は25～30度、夜は20～23度が適温で、10度以下の低温では生育がまったく停止し、葉が黄変、落葉してしまいます。畑に植えたが一向に伸びず、落葉、枯死するという声がよく聞かれるのは、苗が低温に遭っていたり、植えた畑が寒過ぎたりした場合が多いのです。これを水不足と勘違いして水をやり過ぎると地温がさらに下がり、過湿となり立ち枯れ病が発生したりして失敗を助長してしまいます。

育て方のポイントは、苗は3号ポリ鉢に、一晩水に浸した種を4～5粒まき、20度ぐらいい加温して育てるか、市販の苗を買い求め、暖かい場所で再育苗し、十分暖かくなってから畑に植え出します。最近はずいぶん早くから店頭で苗が並びますが、買い急ぎは禁物、失敗して再び苗を求めなくてはならない状態になってしまいます。

図のように黒色ポリフィルムをマルチし、地温を上げてから植えることをお勧めします。

オクラの育ちをよく見ると、初期には枝分かれせず、1株当たりの花・果数は少ないので、それを補い、早期収量を高めるために、畑



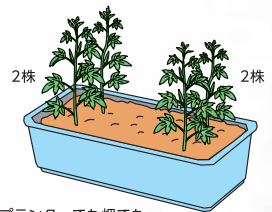
でもプランターでも、1カ所に2株ずつ植えることを勧めます。前半は葉もあまり込み合わないのので、これでちょうど良いのです。

盛んに育ち枝が伸びだしてきたら、主枝の上の方を摘除し側枝に日を当て、健全に伸びるようにします。

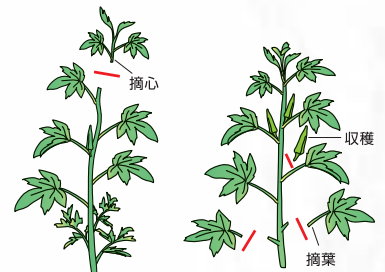
半月に1回、1株当たり小さじ1杯ぐらいの化成肥料を追肥します。

近頃各地で葉を筒状に巻き食害するワタノメイガの発生が見られます。発見次第捕殺するか、適応殺虫剤を散布して防ぎましょう。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



プランターでも畑でも1カ所2株ずつ植える



株が大きく育ったら主枝を摘心し側枝を伸ばす

果実を収穫したらその下方の葉は摘み取る

## 【お詫び】

J Aしまねびより3月号家庭菜園の記事に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

「文書最後から3行目」

(誤) 特に畑が酸性気味の場合

(正) 特に畑がアルカリ性気味の場合



出雲⇄函館

初就航

直行チャーター便で行く!!

# 100万ドルの夜景の街 函館

## Tour 5大おすすめポイント

- 1 出雲縁結び空港より FDA チャーター便にて函館へひとつとび!
- 2 チャーター便利用で時間のロスなく函館に移動でき、通常の定期便ツアーより函館観光をご満喫いただけます。
- 3 パリエーション豊かなコースをご用意! (片道チャーター便企画を含む全6コースをご用意しております)
- 4 全コース、世界三大夜景のひとつ「函館」夜景見学へご案内いたします。
- 5 全コース、2泊(Eコース 3泊)とも2名様より1部屋をご用意!

**函館空港・函館市の「直航チャーター便」**  
 通常は定期便利用で(乗継時間も含め)4~5時間かかるころ、  
 往復とも函館まで直行チャーター便利用で楽々!!  
 (D・E・Fコースは復路のみ利用)

【往路】約1時間45分  
 【復路】約2時間

あなたの視野を  
 まだ開けていない  
 旅がもっとあつがるはず!!

コース	ツアータイトル	出発日(平成30年)	旅行代金 <small>大人名1人様2名様1室利用、出雲縁結び空港発着(往送)</small>
Aコース	世界三大夜景 函館・湯の川温泉と 津軽・下北みちのく二大半島めぐり (3泊)	6月3日(日)・6日(水)	129,800円
Bコース	北海道南西端に浮かぶ 奥尻島と 世界三大夜景 函館・洞爺湖・大沼 (3泊)	6月 3日(日)	129,800円
Cコース	世界三大夜景 函館・湯の川温泉と 北海道の名湯 登別温泉 (3泊)	6月 6日(水)	129,800円
Dコース	東北縦断 中尊寺・十和田・奥入瀬と 世界三大夜景 函館・湯の川温泉 (3泊)	5月31日(木)	129,800円
Eコース	東北縦断 松島・中尊寺・十和田・奥入瀬と 世界三大夜景 函館・湯の川温泉 (4泊)	5月30日(水)	129,800円
Fコース	世界三大夜景 函館・湯の川温泉と 札幌・小樽・洞爺湖 (3泊)	5月31日(木)	129,800円



掲載のツアーは、この広告でのお申し込みを受け付けておりません。

※詳しい旅行については、専用パンフレットをご用意しております!お気軽に最寄りのJA旅行センターへご請求ください!

Tour 株式会社農協観光

- JAしまね 旅行センター本部 ☎0853-25-8907    JAしまね 出雲 旅行センター ☎0853-21-3305    JAしまね 島根おち旅行センター ☎0855-83-0008  
 JAしまね やすぎ 旅行センター ☎0854-28-6699    JAしまね 斐川 旅行センター ☎0853-73-9625    JAしまね いわみ中央旅行センター ☎0855-22-8820  
 JAしまね 雲南 旅行センター ☎0854-42-9118    JAしまね 石見銀山旅行センター ☎0854-82-3501    JAしまね 西いわみ旅行センター ☎0856-22-8587

JA女性組織フレッシュミズ・JA全農 コラボ企画

# エーコープ ほめられ酢

- ✓ 万能酢なのでこれ1本で和洋中が簡単に!
- ✓ 柔らかな酸味で後味さわやか!
- ✓ お子様も食べやすく安心!
- ✓ 国産原料にこだわり、最優先に使用!
- ✓ 手軽に使える手持ちサイズ、使い切りにいい300ml!
- ✓ 食卓において毎日の料理にプラスワン!

## 【フレッシュミズの思いをのせて】

フレッシュミズ開発担当者と全農が開発協議を重ね「小さなお子様やお酢が苦手な人にも食べやすい商品にしたい」「国産原料、アレルギー物質等にこだわり安心できる商品にしたい」との思いが商品になりました。

本商品は、第63回JA全国女性大会(30年1月24日開催)において、全国の女性組織の皆様へ盛大なお披露目が行われ、会場では「簡単、便利でネーミングのとおり“ほめられる”お酢だね」など、好評をいただきました。

簡単! 便利!  
ほめられ酢!



レシピ  
WEB公開中!

商品はくらしの宅配便やお近くのAコープ、JA 購買店舗、直売所にてお買い求めいただけます。

## さくら餅



薄く生地を焼くのがポイントです。桜の葉を巻いたら市販の桜餅にも負けない出来上がりです。

## ●材料 (10個)

米粉……………	60g	サラダ油……………	少々
白玉粉……………	30g	こしあん……………	200g
水……………	150cc	桜の葉塩漬け……………	10枚
砂糖……………	40g		
食紅……………	少々		

## ●作り方

- ①こしあんは一口大に10個まるめておく。
- ②ボールに米粉、白玉粉、砂糖、水を入れダマがなくなるまで混ぜる。
- ③水で溶いた食紅を少し入れる。
- ④フライパンに油をひき③を薄く楕円形になるように流し入れる。
- ⑤裏側が焼けたら竹具しか爪楊枝でひっくり返す。
- ⑥フライパンから出し、きれいな面を外側にして、こしあんを包み塩抜きした桜の葉で包む。

## たけのこの味噌チーズ焼き 3種味



たけのことチーズは相性抜群です。和食に使うことが多いたけのこ、洋風にしてもおいしいですよ。とろけるチーズの上に好きな物をかけていろいろアレンジを楽しんでみてください。

## ●材料 (4人分)

たけのこ……………	250g	A 七味唐辛子……………	適量
〔味噌……………〕	小さじ2	B 木の芽……………	
〔砂糖……………〕	小さじ1	C ごま……………	少々
とろけるチーズ……………	適量		

## ●作り方

- ①たけのこを茹でる。または水煮のたけのこを準備する。たけのこを味噌、チーズを乗せやすい大きさに切る。
- ②味噌と砂糖をよく混ぜる。
- ③たけのこの上に砂糖を混ぜた味噌を、薄くまんべんなく塗る。
- ④③にとろけるチーズを乗せる。
- ⑤たけのこをオーブントースターまたはグリルに入れ、およそ5~7分程度焼く。
- ⑥仕上げにAの七味唐辛子又は、Bの木の芽、Cのごまをそれぞれふる。

## 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直道 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、安来市にある中海干拓安来干拓地から望む早春の大山です。安来干拓地(約128ha)は、農林水産省が昭和38年から進めてきた中海干拓事業により、米子湾の一部を干陸して造成された干拓地であり、大規模な畑作営農が展開されています。主な農産物はキャベツ、ブロッコリー、いちご、トマト等です。また、古来より山岳信仰が盛んな大山は、今年、開山1300年を迎えます。山麓には西日本最大級のブナの原生林が広がり、降り注ぐ雨や雪は、ゆっくりと地面を伝い、生命の水となって流れていきます。

## 編集後記

シュンランとの出会いは、約40年前、日原町農協婦人部の総会の場でした。数日後、我が家の雑木林を探すと人知れず凜と咲いており、とても感動的でした。野に山にかけやすい季節となりました。忙しいからこそ、自然の恵みに感謝しながら、心豊かに過ごしたいものです。(星)



## 【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

